

※接種前に必ずお読みください

助成期間中 **1人1回まで**
※2回目以降は**全額自己負担**
となります。

高齢者等インフルエンザ予防接種説明書

【接種に当たっての注意事項】

- ・高齢者等インフルエンザ予防接種は、自らの意志と責任で接種することが原則です。予防接種について、説明書をよく読み、気になることや分からないことがあれば、接種前に医師や看護師、保健所保健・感染症課に相談し、接種を受けてください。
- ・予診票は、予防接種の可否を決める大切な情報です。基本的には、接種を受ける方が責任をもって記入し、正しい情報を医師へ伝えてください。

1. インフルエンザとは

- ・インフルエンザは、高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、だるさなどの症状が現れ、風邪と同じような喉の痛み、鼻水、咳などもみられます。
- ・高齢の方や、免疫力が低下している方は、肺炎を伴うなど重症化し、命にかかわる場合もあります。

2. インフルエンザから身を守るためには？

感染経路は主に飛沫感染であり、発病や重症化を予防するためには、次の2点が大切です。

- ① 手洗い、マスクの着用、換気などの基本的な感染対策を行う。
- ② 流行前に予防接種を受ける。

3. インフルエンザワクチンの有効性

- ・ワクチンには、発症を一定程度防ぐ効果、重症化（肺炎、脳症などの重い合併症）や死亡を防ぐ効果があります。発病を完全に阻止する効果があるわけではありません。
- ・予防接種を受けてから十分な効果が続く期間は、接種後約2週間後から約5か月間とされています。10月から12月中旬までの接種をお勧めします。
- ・基本的には、1シーズン1回の予防接種で効果があります。

4. インフルエンザワクチンについて

<予防接種を受けることができない方>

- ☐ 接種当日、明らかに発熱のある方（通常 37.5℃以上）
- ☐ 重篤な急性疾患にかかっている方
- ☐ インフルエンザの予防接種に含まれる成分によって、アナフィラキシーショックを起こしたことが明らかな方
- ☐ その他、医師が不適当な状態と判断した方

<接種に注意が必要な方>

- ☐ 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気などで治療を受けている方
- ☐ インフルエンザワクチン接種後2日以内に、発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方
- ☐ 今までにけいれんを起こしたことのある方
- ☐ 今までに免疫不全の診断がされている方・近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ☐ 間質性肺炎、気管支ぜん息などの呼吸器疾患を有する者
- ☐ インフルエンザ予防接種液の成分（または鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のもの）に対して、アレルギーがあると言われたことのある方

5. 予防接種を受けたあとの「副反応」について

- ①予防接種をした際にみられる、免疫がつく以外の反応を「副反応」といいます。
予防接種の副反応の多くは24時間以内に出現しますので、体調に注意しましょう。
 - ・比較的多くみられる副反応には、注射をした部位の赤み、はれ、痛みなどがあります。
 - ・全身性の反応としては、発熱、頭痛、寒気、だるさなどがありますが、通常2～3日でなくなります。
- ②特に注意が必要な副反応として、まれに、ショック、アナフィラキシー様症状（発疹、じんましん、赤み、かゆみ、呼吸困難等）がみられることもあります。比較的に起こることが多いため、特に、予防接種後30分間は、医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしましょう。

6. 接種後の過ごし方

接種後は、注射部位を清潔に保ちましょう。接種した日は、激しい運動や大量の飲酒を避けましょう。入浴は差し支えありませんが、注射部位を強くこすらないようにしましょう。

7. 健康被害救済制度

予防接種による重篤な健康被害が発生し、予防接種と因果関係があると厚生労働大臣が認定した場合、健康被害の治療に要した医療費等の給付を行う制度があります。

副反応と思われる症状が強かったり、長く続く場合には、まずは接種医に相談し、必要時、医師の診察を受けましょう。健康被害救済制度の申請を検討される場合は、市のウェブサイトをご覧ください。か、郡山市保健所保健・感染症課にお問い合わせください。

【問合せ先】

郡山市保健所保健・感染症課 感染症・予防接種係

〒963-8024 郡山市朝日二丁目 15-1

TEL 024-924-2163 FAX 024-934-2960



この説明書は、予防接種ガイドライン、厚生労働省「インフルエンザ Q&A」等より抜粋しています。